

## 清水ただし衆院議員が被災地を訪問



清水衆院議員に説明する松本昭夫北栄町長（北栄役場）



避難者をお見舞いし、話を聞く清水ただし衆院議員



危険家屋で「片付けもこれから」と話す女性（北栄町）

29日、清水ただし衆院議員は、「党を語るつどい」に先立ち、中部地震の被災地を視察。北栄町では長谷川昭二町議と役場を訪ね、松本町長と懇談。松本町長は、「農業存続は町にとって最重要。家屋以外、農作業小屋などにも支援を検討している」と言われました。倉吉市では佐藤博英市議と避難所を訪問。70歳の女性は「恐ろしくて自宅に帰れない」と言われました。民医連の対策本部では、全国からかけつけたボランティアにあいさつ。懇談では、「寒くなると感染症が心配」「雪対策も必要」などの意見が寄せられました。清水議員は、お聞きしたご意見、ご要望は必ず国に届け、実現にむけ全力で頑張りたいとこたえました。



民医連の対策本部のみなさんから要望を聞く清水議員

### 熊本県委員会から募金届く

29日、日本共産党熊本県委員会から被災者支援募金10万5千円がとどきました。今年4月に大地震に見舞われ、復興最中の熊本県。お礼の電話をかけたところ、「私たちも全国から多くの支援・励ましをいただきました。鳥取の被災者支援にいかしてください」とのメッセージでした。党県委員会は、この間よせられた募金とともに、来週にも被災自治体に届ける計画です。